MODELLISTA

# MSD44－42007/8
# サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ サイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

**★ 本商品は登録後架装を前提としています。**

## ■ 品番・適合車種

| 品　番 | 塗装色 | 適合車種 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| MSD44-42007-A1 | プラチナホワイトパールマイカ（089） | RAV4 | |
| MSD44-42007-C0 | アティチュードブラックマイカ(218) | | |
| MSD44-42008-NP | 未塗装品 | | |

・ 最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 https://www.modellista.co.jp/

## ■ 構成部品

| No. | 品名 | 品番 | 個数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ① | FRフェンダースカートRH | MSD44-42H09-NP | 1 | PP |
| ② | FRフェンダースカートLH | MSD44-42H10-NP | 1 | PP |
| ③ | FRドアスカートRH | MSD44-42H09-NP | 1 | PP |
| ④ | FRドアスカートLH | MSD44-42H10-NP | 1 | PP |
| ⑤ | RRドアスカートRH | MSD44-42H09-NP | 1 | PP |
| ⑥ | RRドアスカートLH | MSD44-42H10-NP | 1 | PP |
| ⑦ | タッピングスクリュー | － | 2 | 6×16mm |
| ⑧ | スペーサー | － | 1 | |

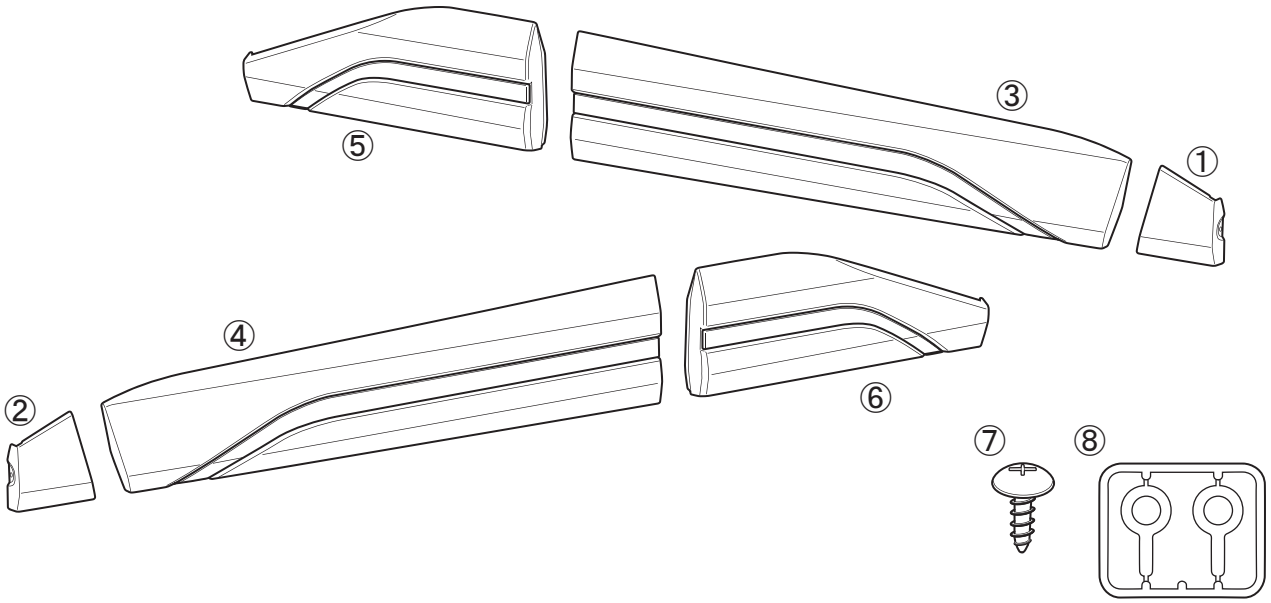
※①②③④⑤⑥の品番にはリペアパーツセット（MSD80-42H30）を含みます。

以下、MSD44-42008－NP（未塗装品セット）のみに同梱

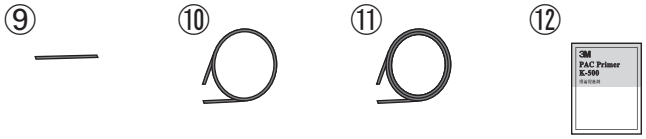
| No. | 品名 | 品番 | 数量 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑨ | パッド | － | 2 | 74mm | |
| ⑩ | パッド | － | 2 | 704mm | |
| ⑪ | パッド | － | 2 | 1004mm | |
| ⑫ | PACプライマー(青袋) | 08867-00230 | 1 | K-500 | |
| ⑬ | FRドア加飾ピースRH | － | 1 | | 仮組付け済 |
| ⑭ | FRドア加飾ピースLH | － | 1 | | |
| ⑮ | RRドア加飾ピースRH | － | 1 | | |
| ⑯ | RRドア加飾ピースLH | － | 1 | | |
| ⑰ | タッピングスクリュー | － | 42 | 4×16mm | |
| ⑱ | Uナット | － | 2 | | |

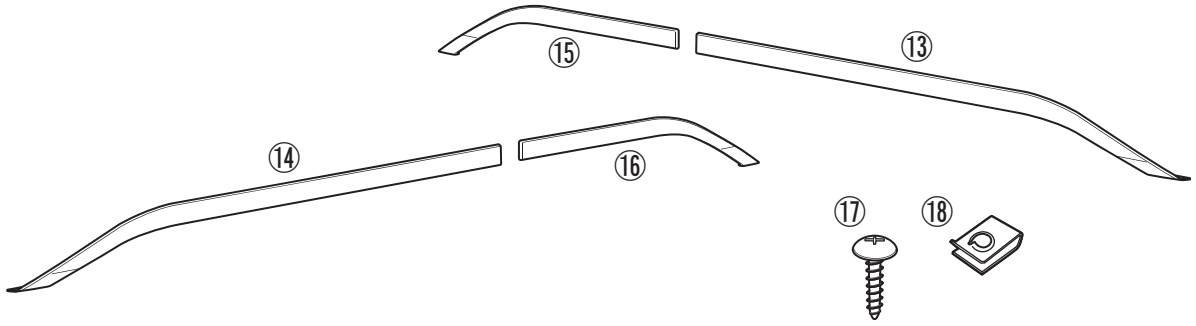
※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品図




以下、MSD44-42008－NP（未塗装品セット）のみに同梱




⑬FRドア加飾ピースRH、⑭FRドア加飾ピースLH、⑮RRドア加飾ピースRH、⑯RRドア加飾ピースLHは、仮組付け済です。塗装前に外してください。
⑰タッピングスクリュー4×16、⑱Uナットは、塗装後の取り付けに必要ですので紛失されない様、注意してください。　※詳細は、■未塗装品の取り扱いについて を参照してください。

## ■ リペアパーツセット（補給）

| 品番 | 備考 |
|---|---|
| MSD80-42H30 | ⑦⑧⑨⑩⑪⑫のセット同梱 |

※本品は補給専用のため、MSD44-42007/8には付属しておりません。

# 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。 |
| ⚠注意 | 注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。 |
| アドバイス | スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。 |

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。

## ⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。

⃠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

## ■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・・・・・４
４．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～１０
５．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
６．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１～１６

## ■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

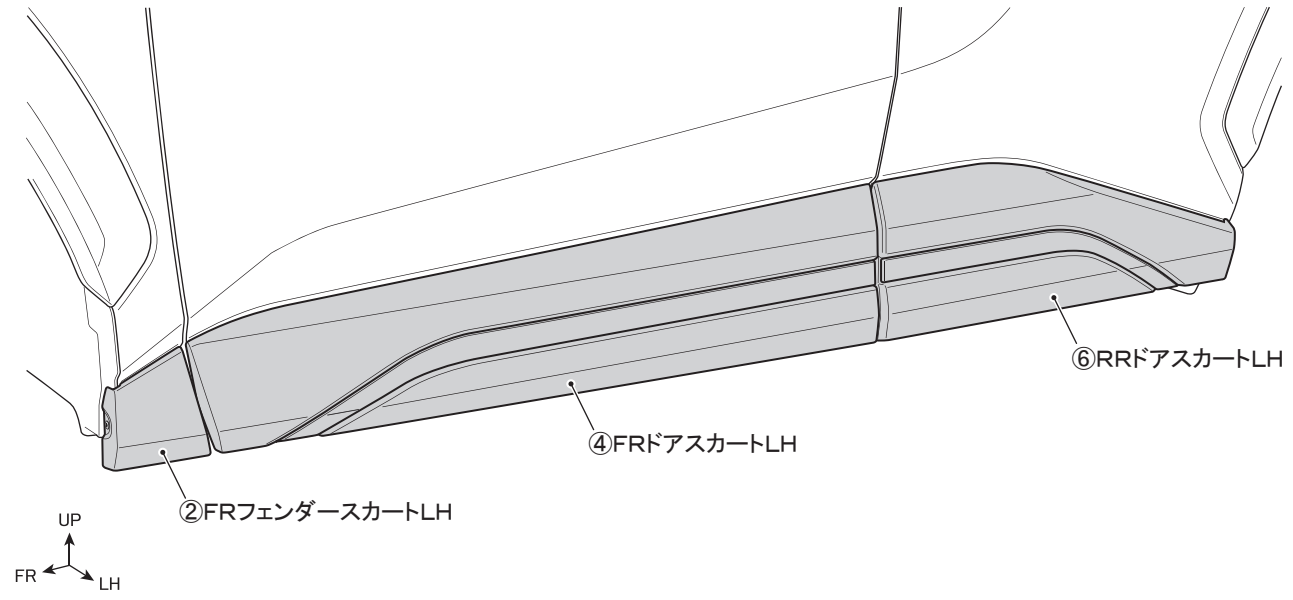
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー
・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

## ■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図

LH図示



## ■ 取付準備、取付要領

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

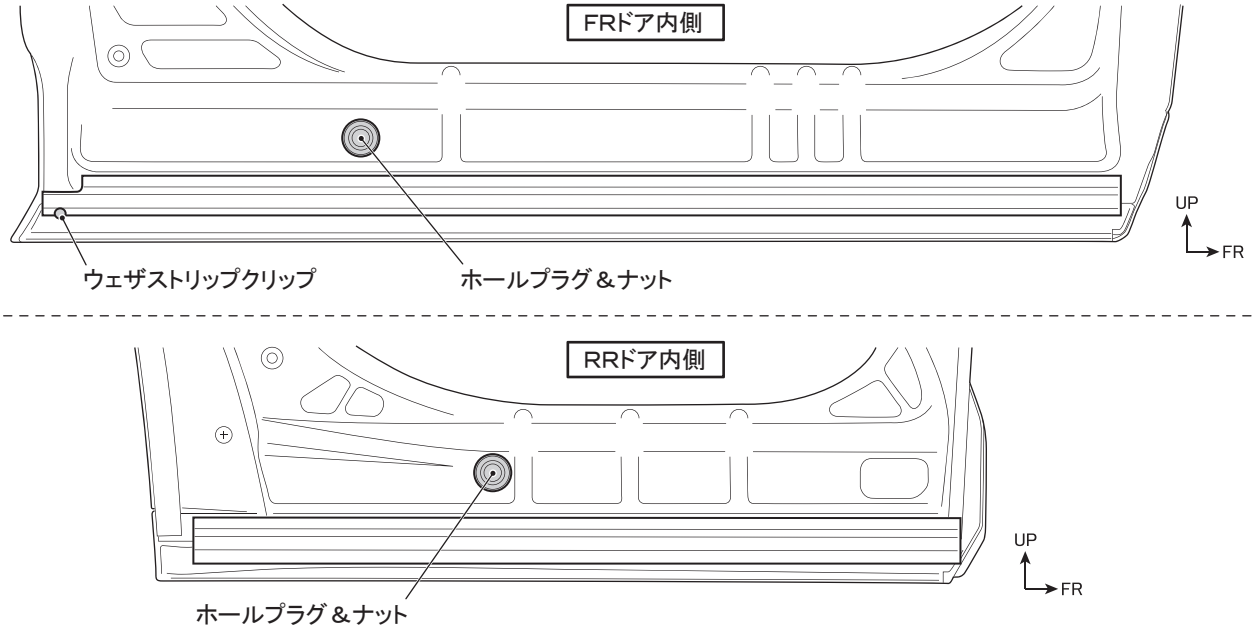
### □ サイドスカート取付準備

【車両部品の取り外し】

1. FRドア、RRドアのホールプラグ、ナット、FRドアのウェザストリップのクリップを該当車両の修理書に従い取り外す。(図1参照)

⚠注意: 取り外した、ホールプラグ、ナット、ウェザストリップクリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

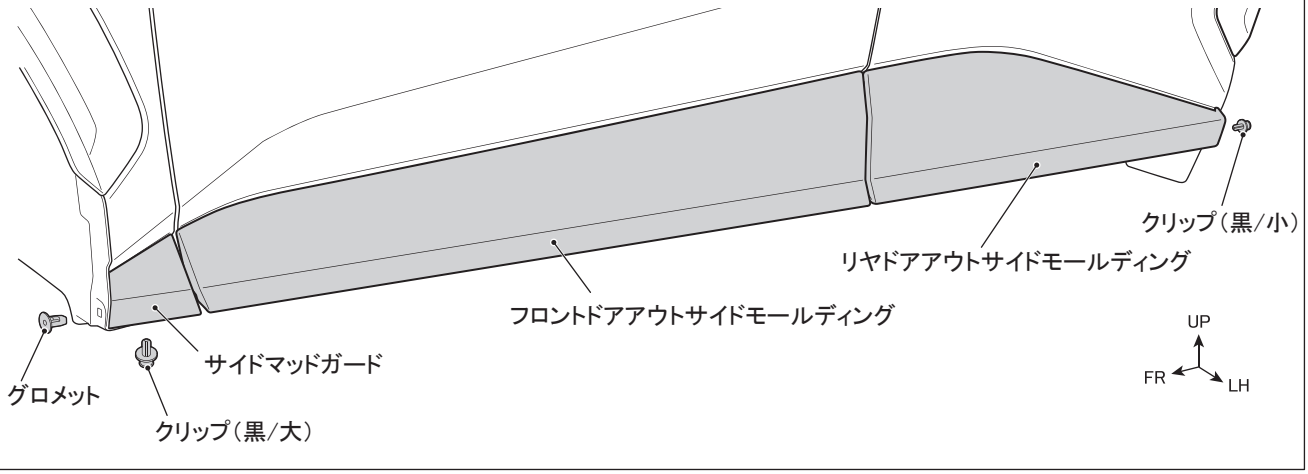
図1 ※LH図示 左右共通作業




2. サイドマッドガード、フロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングを、該当車両の修理書に従い取り外す。(図2参照)

⚠注意: 取り外した、グロメット、クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

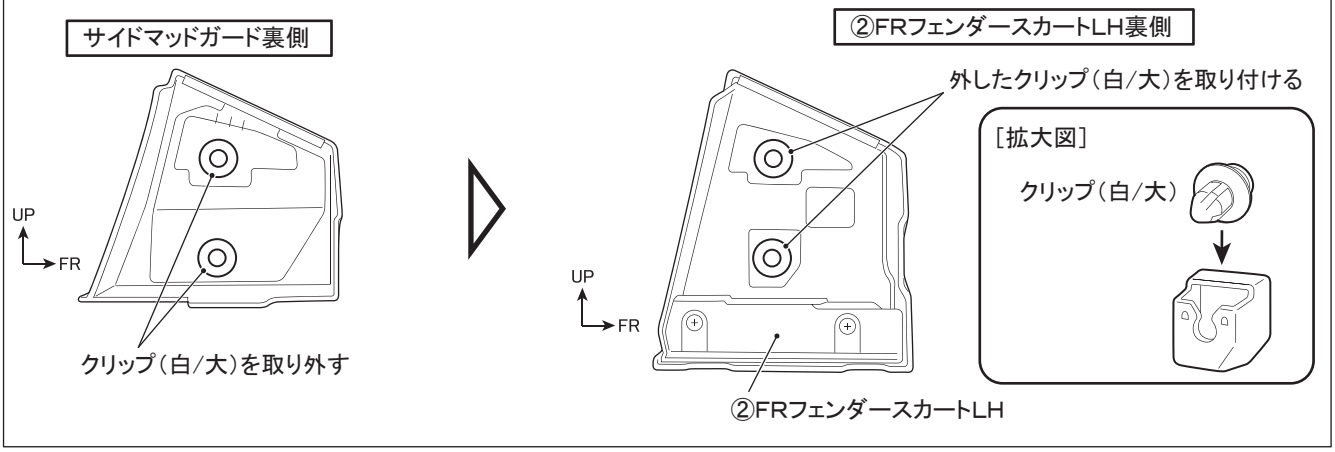
図2 ※LH図示 左右共通作業



【車両部品の取り付け】

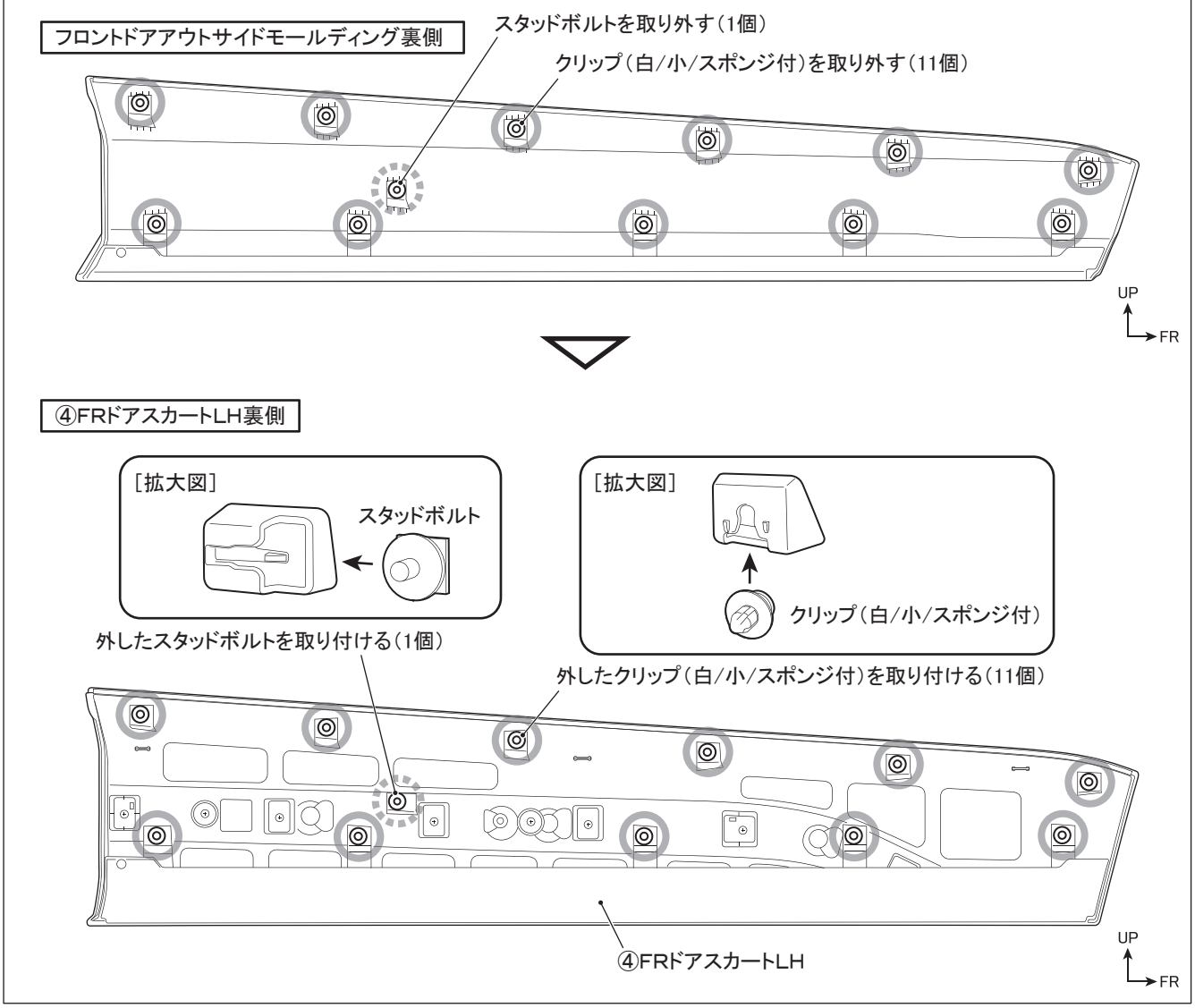
1. サイドマッドガードからクリップ（白/大）2個を取り外し、②FRフェンダースカートLHに取り付ける。（図3参照）

図3 ※LH図示 左右共通作業



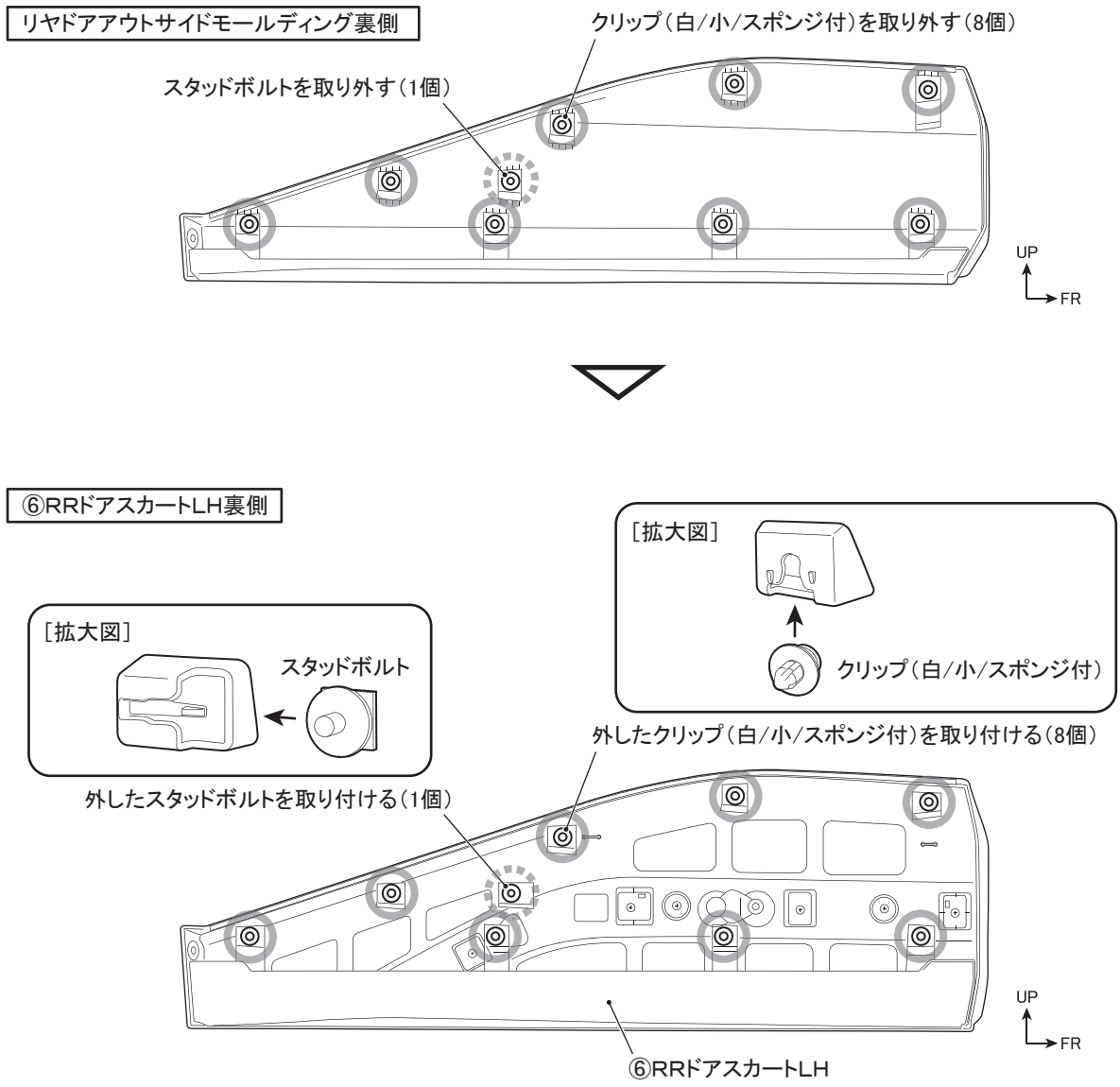

2. フロントドアアウトサイドモールディングからクリップ（白/小/スポンジ付）11個、スタッドボルト1個を取り外し、④FRドアスカートLHに取り付ける。（図4参照）

図4 ※LH図示 左右共通作業



3. リヤドアアウトサイドモールディングからクリップ（白/小/スポンジ付）8個、スタッドボルト1個を取り外し、⑥RRドアスカートLHに取り付ける。（図5参照）

図5 ※LH図示 左右共通作業

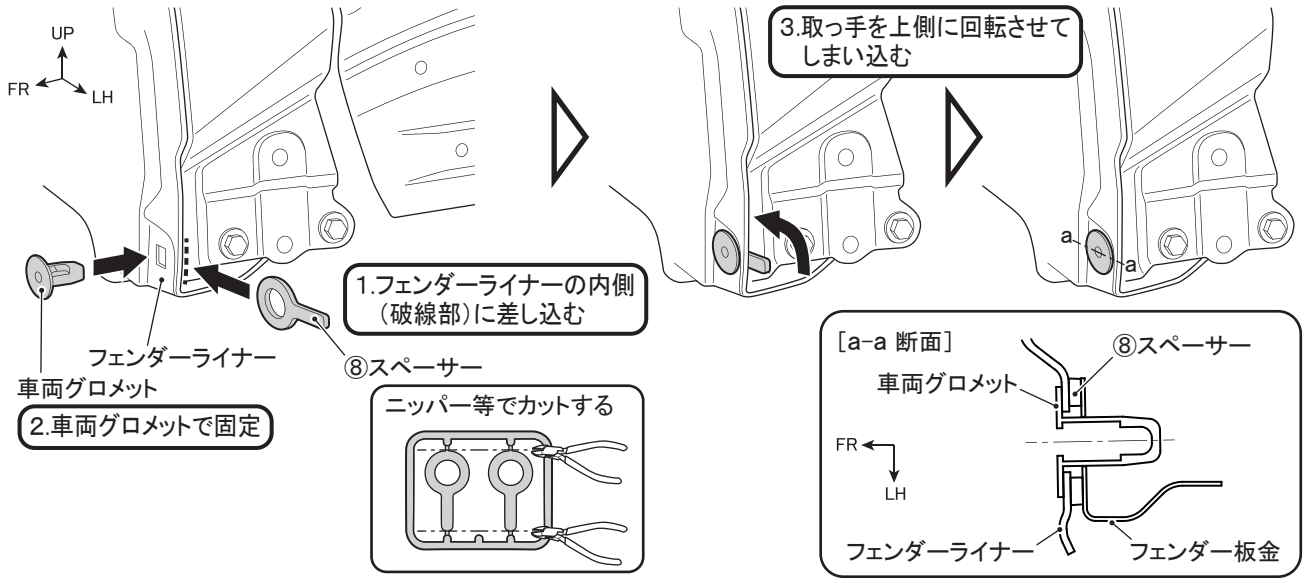


## □ サイドスカート取付要領

【FRフェンダースカートの取り付け】

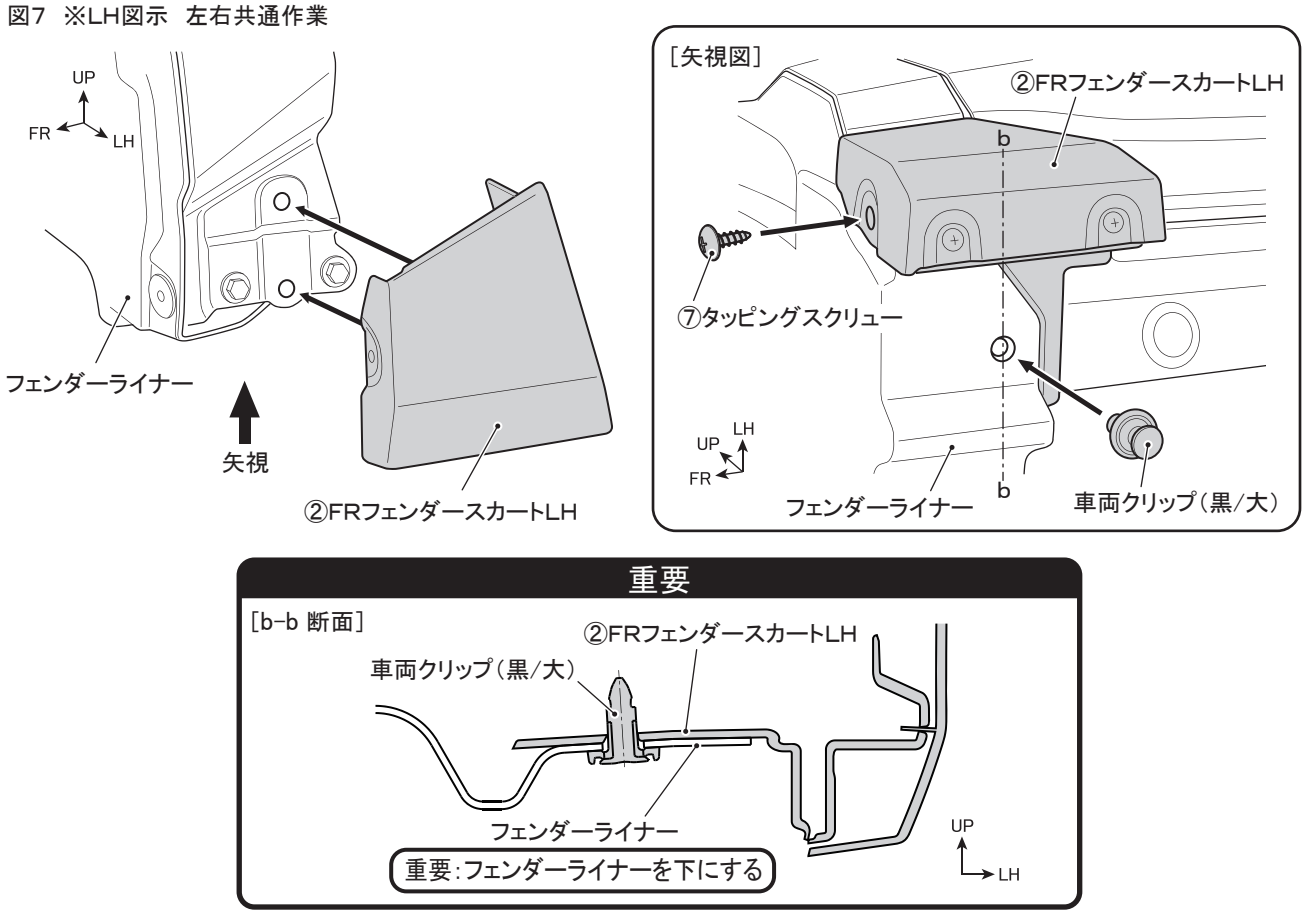
1. 車両FRフェンダーライナーの内側に⑧スペーサーを差し込み、車両から取り外したグロメットで固定する。
グロメットで固定した後⑧スペーサーの取っ手を上側に回転させて取っ手部をしまい込む。(図6参照)

図6 ※LH図示 左右共通作業




2. ②FRフェンダースカートLHのクリップ部(2箇所)を車両取付穴に合わせ取り付ける。
フェンダーライナー下面部が②FRフェンダースカートLHの下側(外側)になる様にして、下面部穴位置に合わせ車両クリップ(黒/大)を取り付ける。
タイヤハウス部穴位置に合わせて⑦タッピングスクリューを取り付ける。(図7参照)

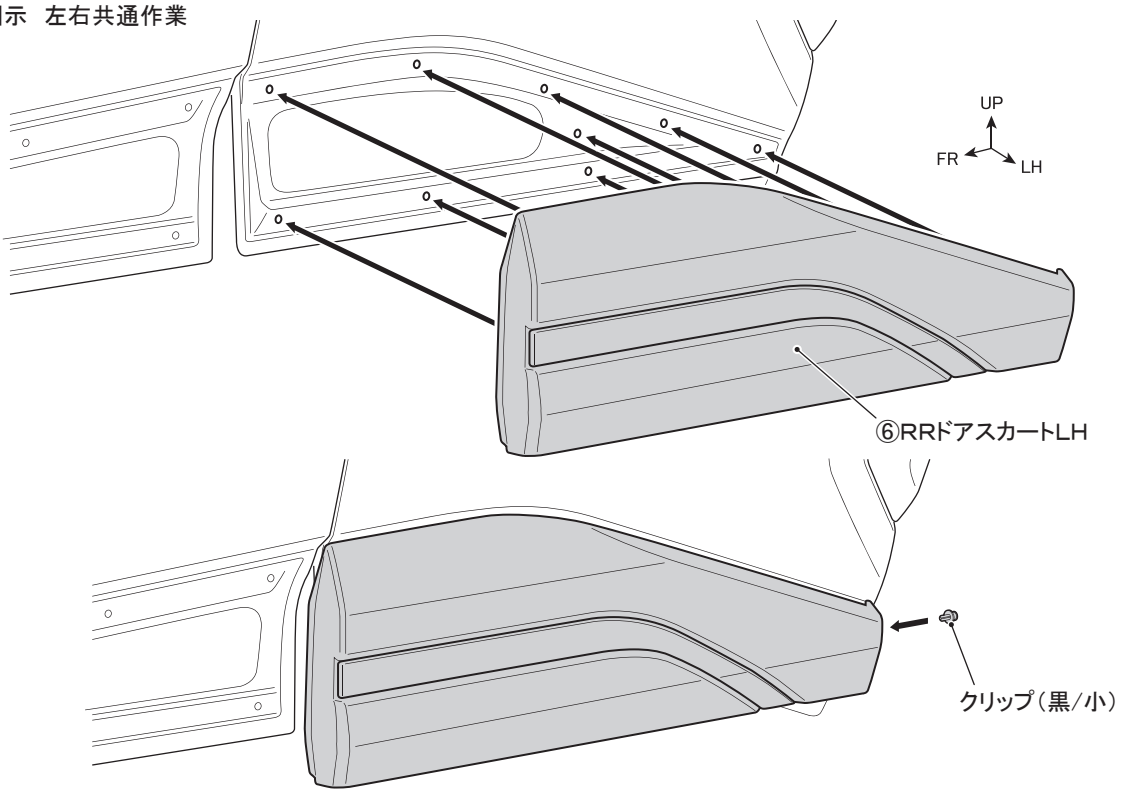
図7 ※LH図示 左右共通作業



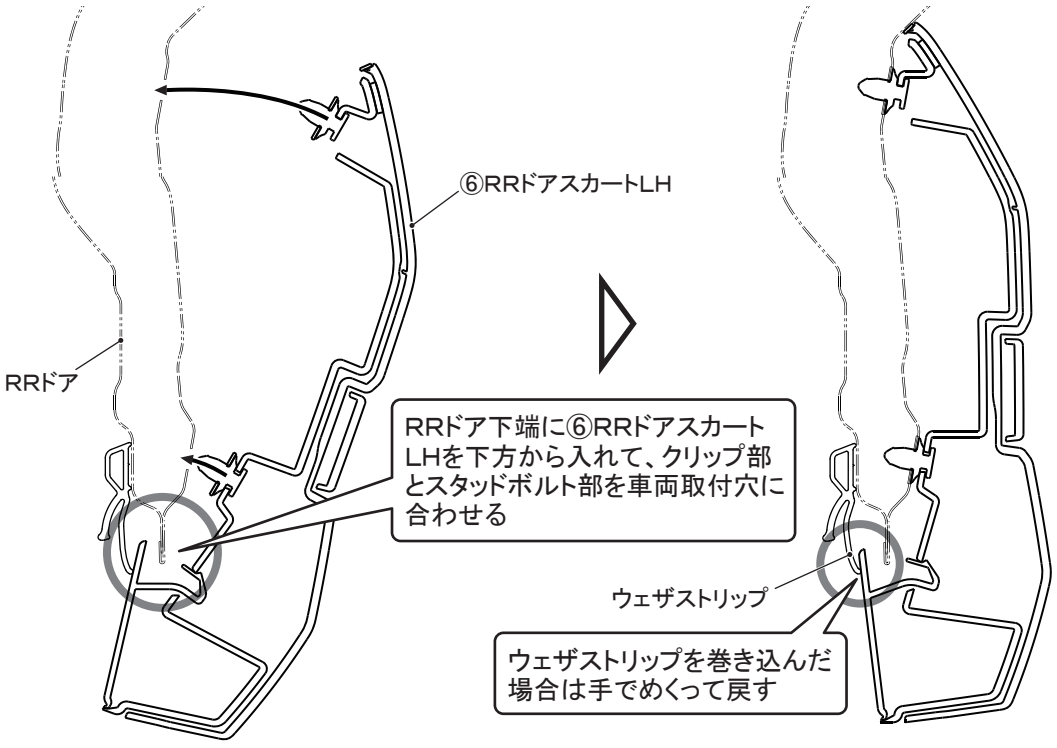
【RRドアスカートの取り付け】

1. ⑥RRドアスカートLHのクリップ部（8箇所）とスタッドボルト部（1箇所）を車両取付穴に合わせ取り付ける。
タイヤハウス部穴位置に合わせて車両クリップ（黒/小）を取り付ける。（図8参照）

図8 ※LH図示 左右共通作業




重要

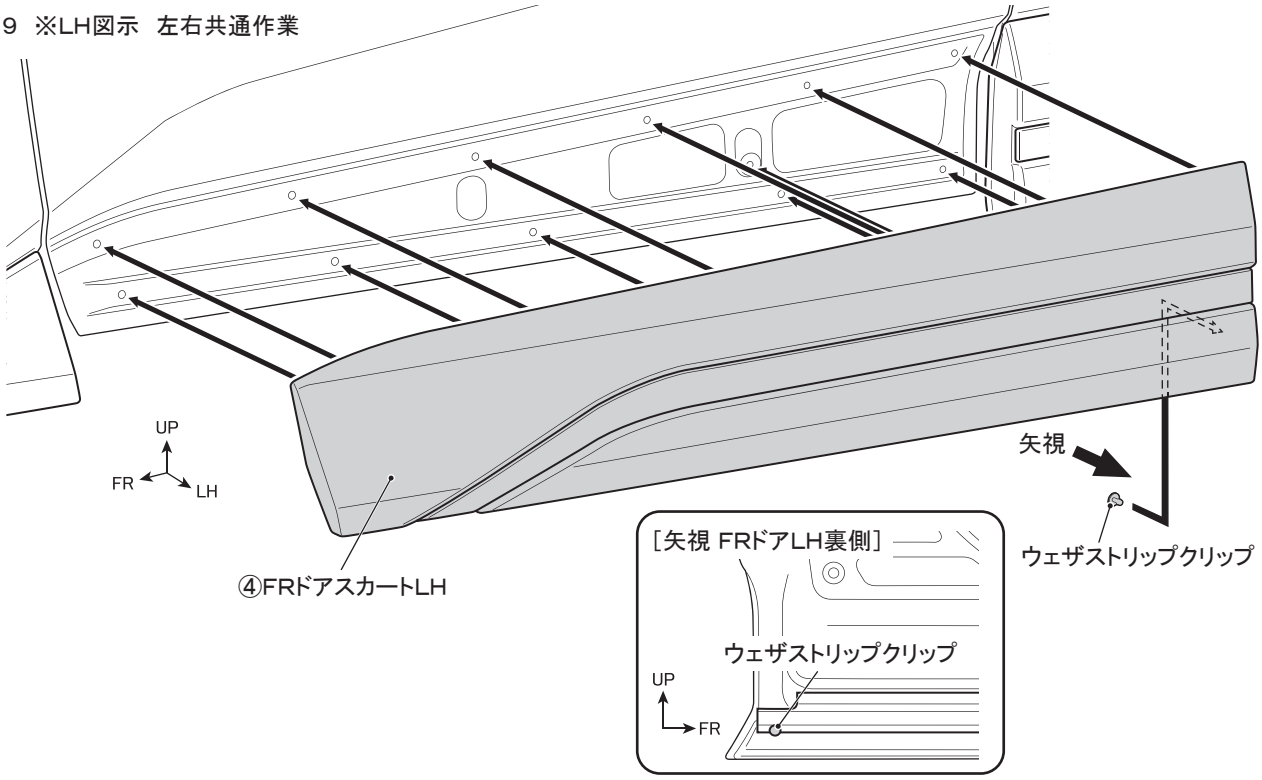


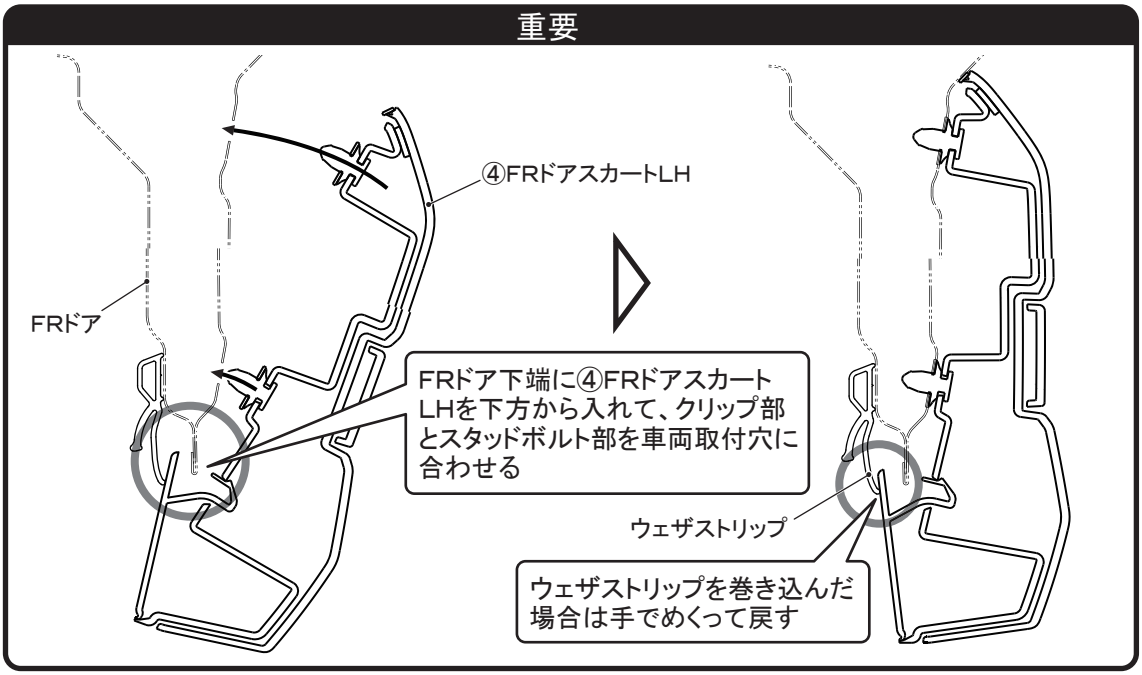

2. ⑥RRドアスカートLHのスタッドボルトに、取り外したナットとホールプラグを取り付ける。

【FRドアスカートの取り付け】

1. ④FRドアスカートLHのクリップ部（11箇所）とスタッドボルト部（1箇所）を車両取付穴に合わせ取り付ける。
   ウェザストリップから外したクリップを取り付ける。（図9参照）

図9 ※LH図示 左右共通作業




2. ④FRドアスカートLHのスタッドボルトに取り外したナットとホールプラグを取り付ける。
3. RH側も同様の手順にて取り付ける。

## ■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両およびサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

## ■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD44-42008-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

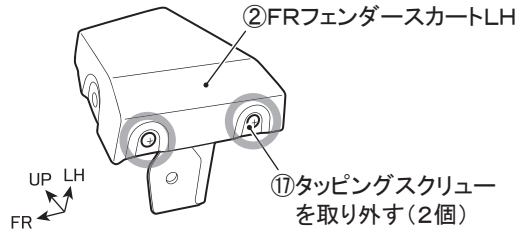
※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

### □ サイドスカートの塗装

【タッピングスクリューと加飾ピースの取り外し】

⚠注意：取り外した、⑰タッピングスクリュー、⑱Uナットは塗装後の取り付けに必要ですので紛失されない様注意してください。

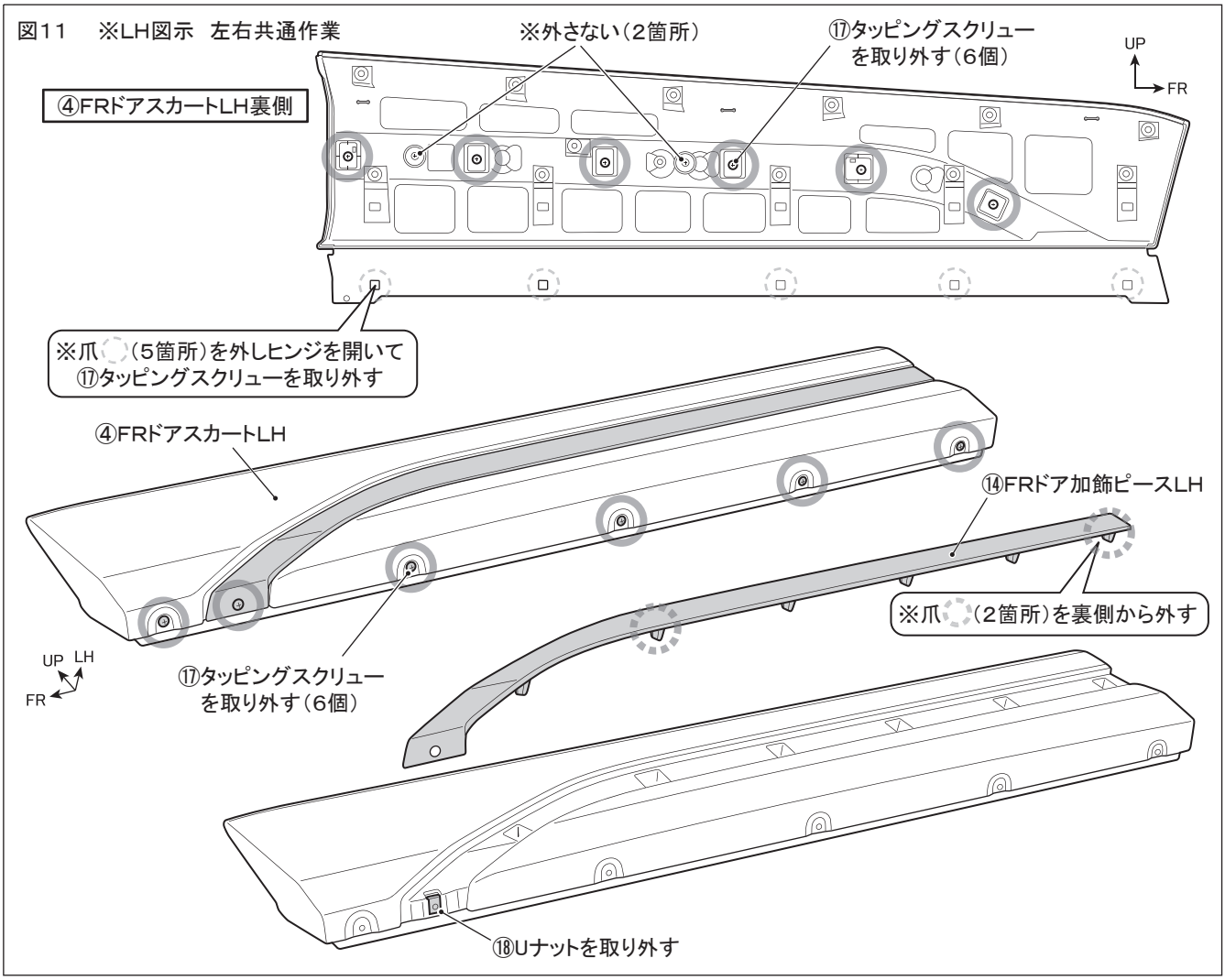
図10　※LH図示　左右共通作業




1. ②FRフェンダースカートLHから、⑰タッピングスクリュー2個を取り外す。（図10参照）

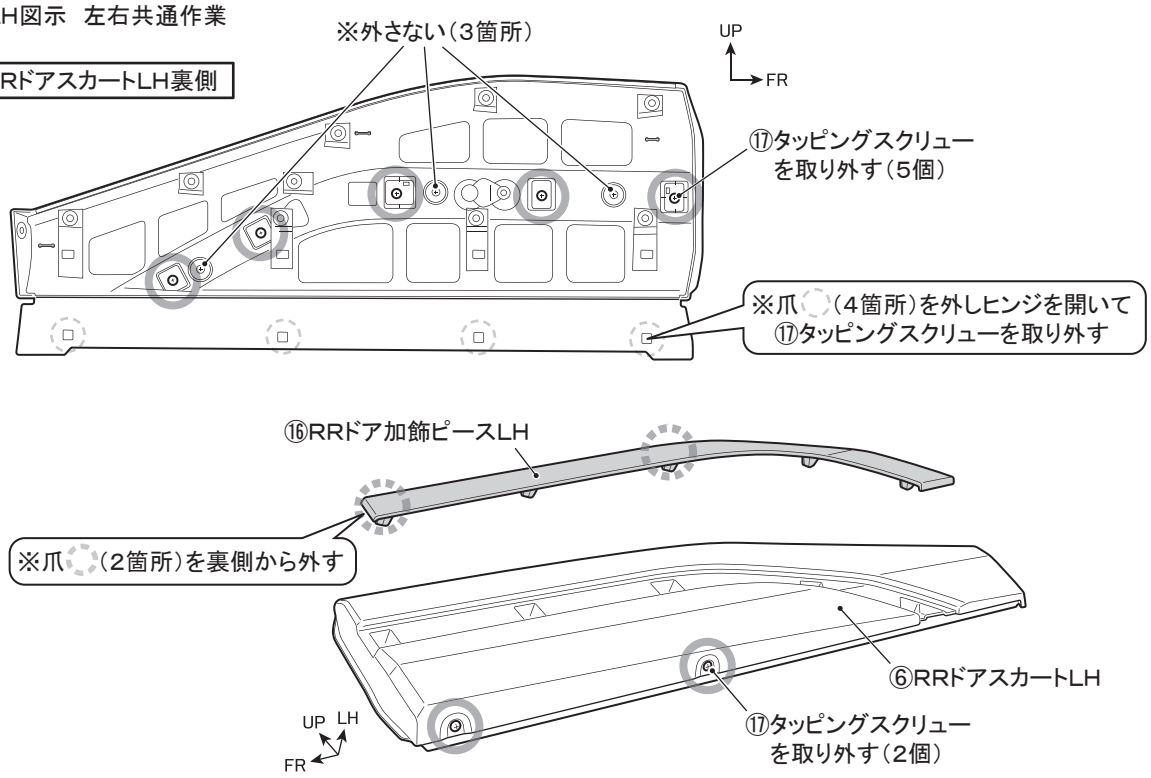
2. ④FRドアスカートLHから、⑰タッピングスクリュー12個（裏側6個、下側6個）を取り外し、⑭FRドア加飾ピースLHを取り外して、⑱Uナットを取り外す。（図11参照）

図11　※LH図示　左右共通作業



3. ⑥RRドアスカートLHから、⑰タッピングスクリュー7個（裏側5個、下側2個）を取り外し、⑯RRドア加飾ピースLHを取り外す。（図12参照）

図12　※LH図示　左右共通作業




## 【塗装】

アドバイス：本製品の素材には難付着性のPP（ポリプロピレン）を使用しているため、必ずPP用プライマーを塗布してください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 塗装範囲外をマスキングする。（図13.14.15参照）

図13　※LH図示　左右共通作業

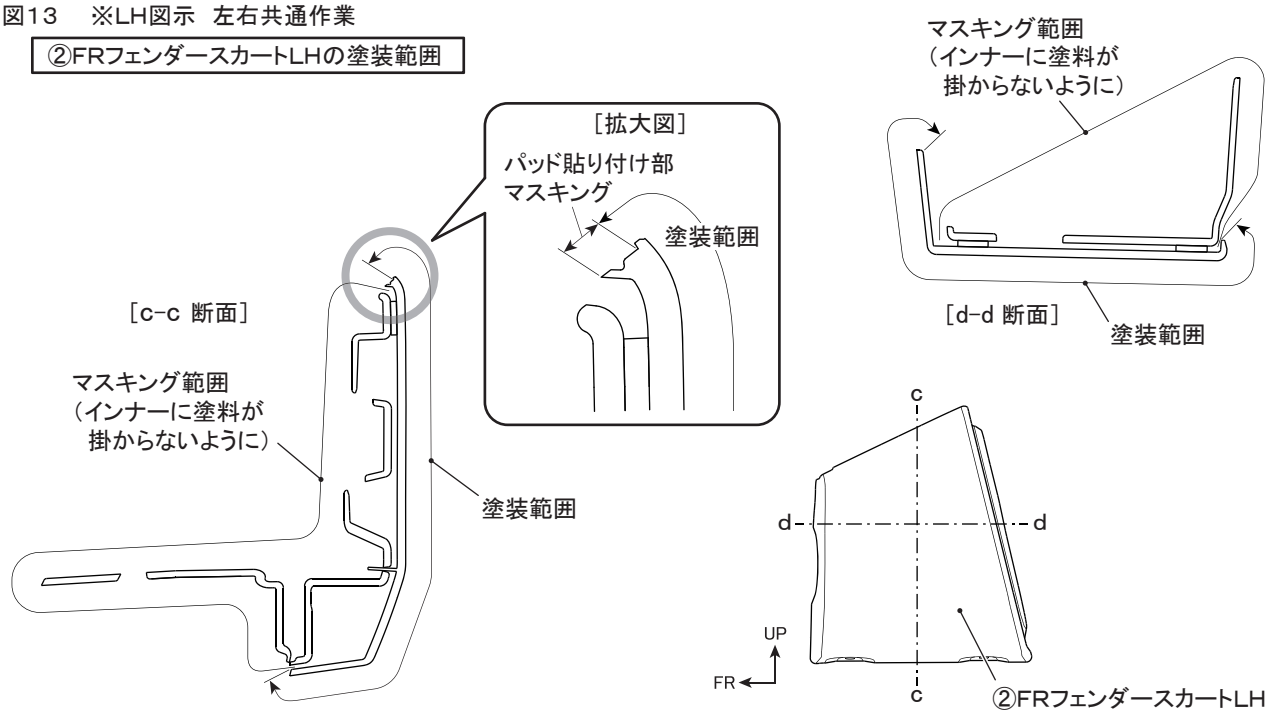


図14　※LH図示　左右共通作業

④FRドアスカートLHの塗装範囲

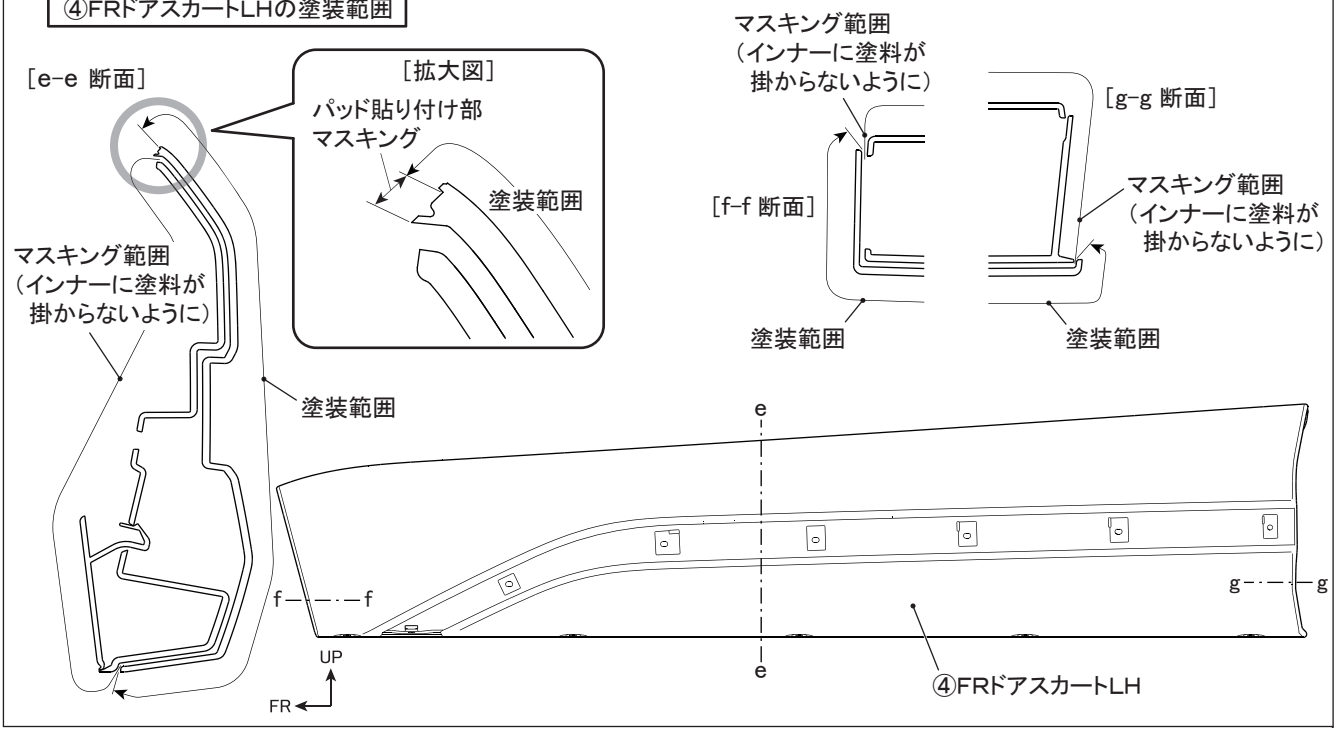
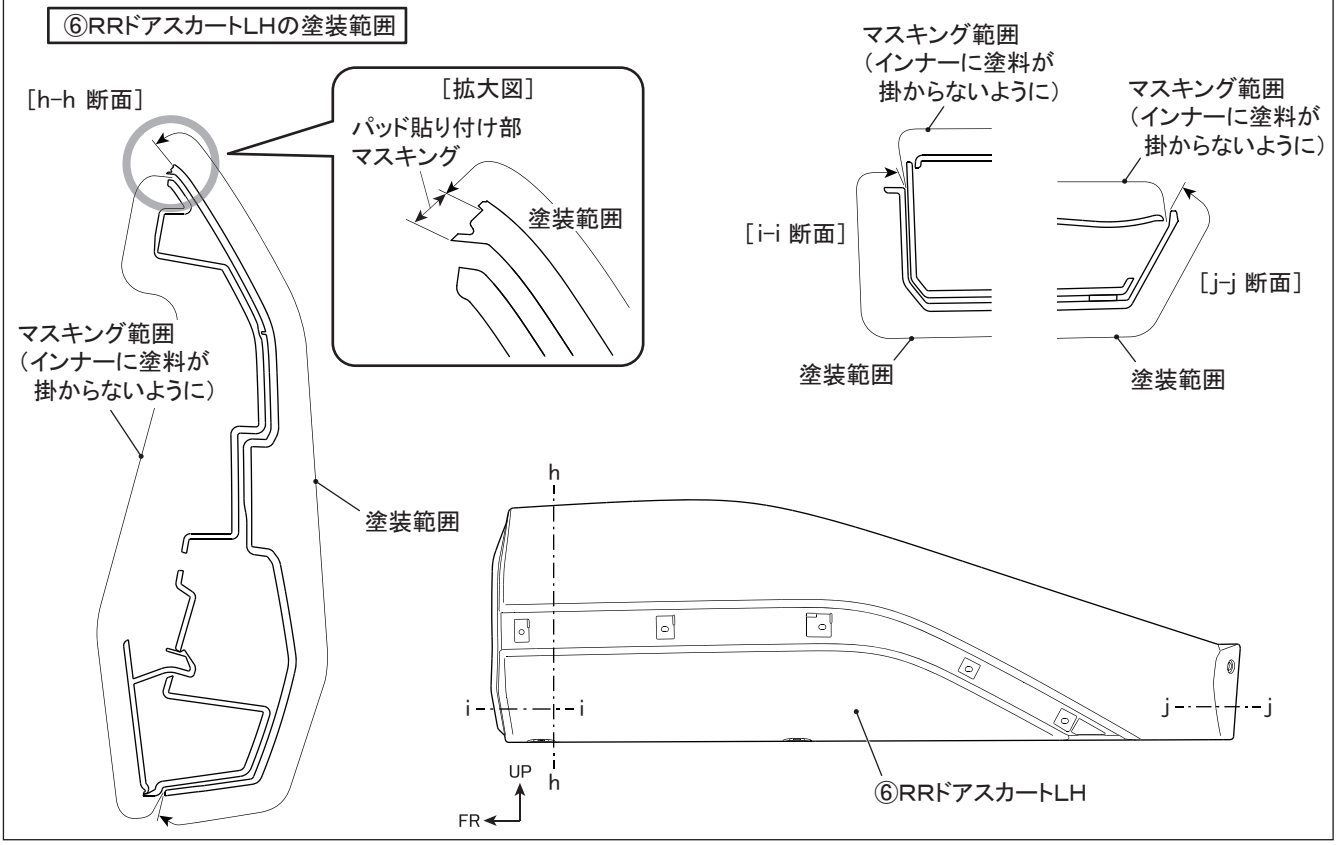



図15　※LH図示　左右共通作業

⑥RRドアスカートLHの塗装範囲

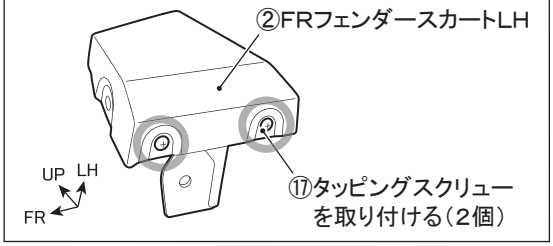



3. プライマー塗装を行なう。
4. 上塗り塗装を行なう。 ◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥させる。

⚠注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、 製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。 強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

## □ タッピングスクリューと加飾ピースの取り付け

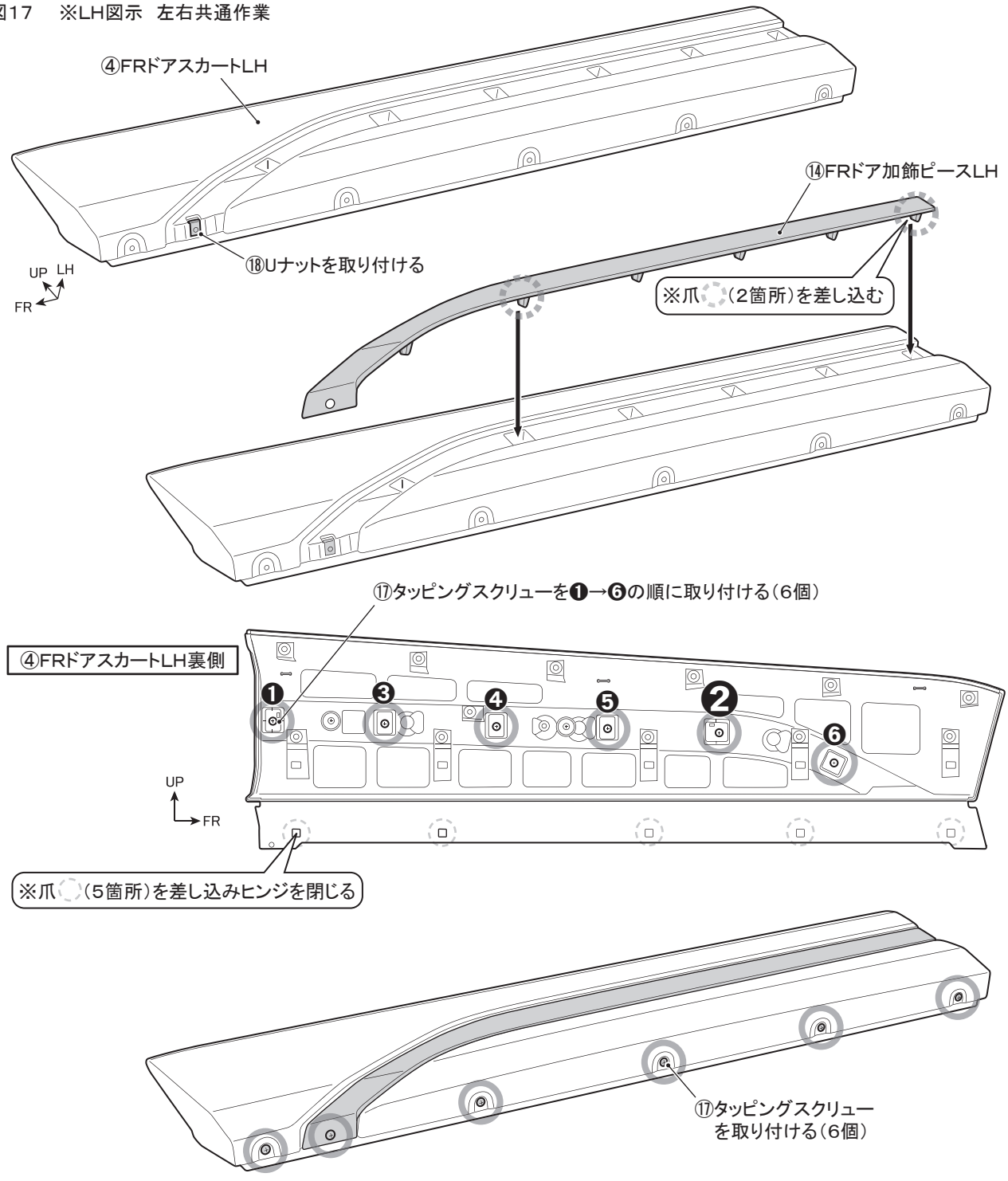
図16　※LH図示　左右共通作業




1. ②FRフェンダースカートLHに、⑰タッピングスクリュー2個を取り付ける。（図16参照）

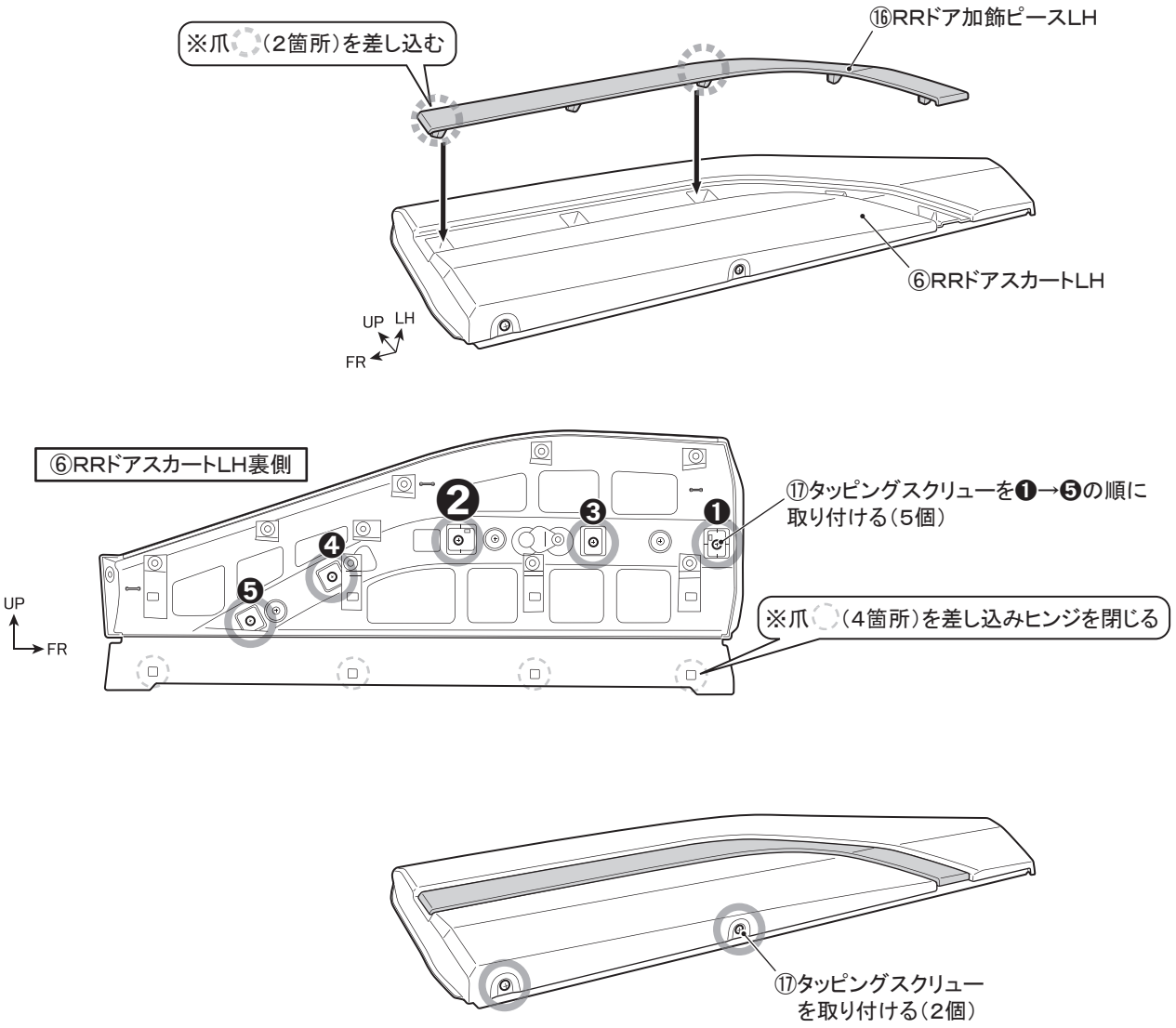
2. ④FRドアスカートLHに⑱Uナットを取り付け、⑭FRドア加飾ピースLHの爪を差し込み、裏側から⑰タッピングスクリューを❶→❻の順に6個を取り付け、ヒンジを閉じる。続いて下側6個を取り付ける。（図17参照）

図17　※LH図示　左右共通作業



3. ⑥RRドアスカートLHに⑯RRドア加飾ピースLHの爪を差し込み、裏側から⑰タッピングスクリューを❶→❺の順に5個を取り付け、ヒンジを閉じる。続いて下側2個を取り付ける。（図18参照）

図18 ※LH図示 左右共通作業

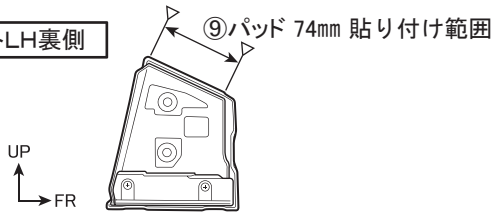


## □ パッドの貼り付け

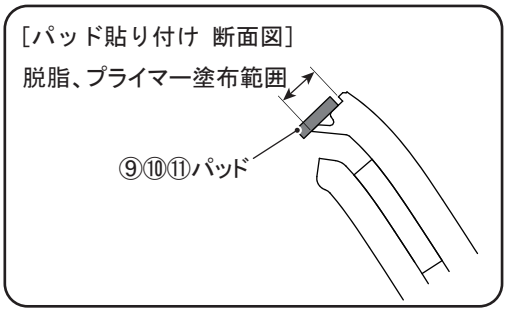
1. ②FRフェンダースカートLH、④FRドアスカートLH、⑥RRドアスカートLHのパッド貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑫PACプライマー（青袋）を塗布する。（図19参照）

図19 ※LH図示 左右共通作業

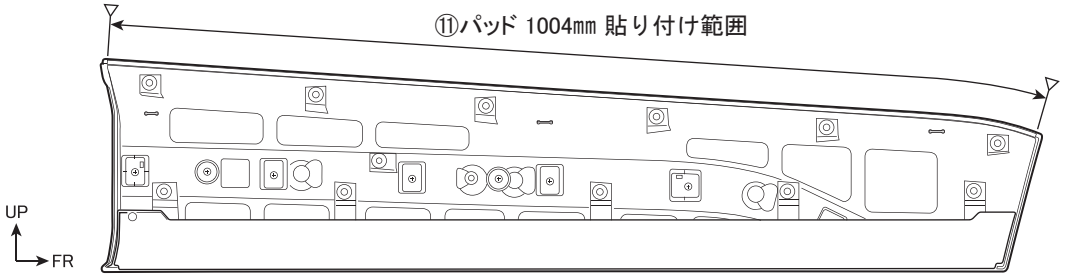
②FRフェンダースカートLH裏側



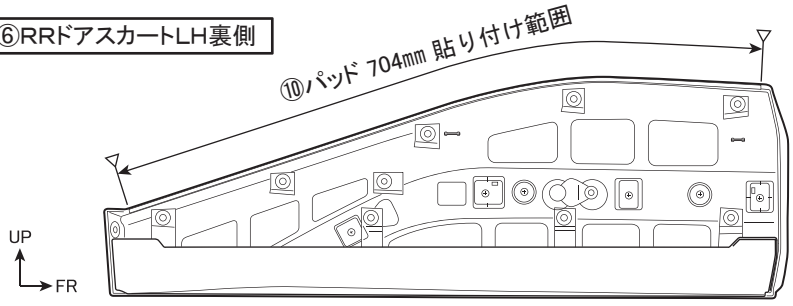

［パッド貼り付け 断面図］



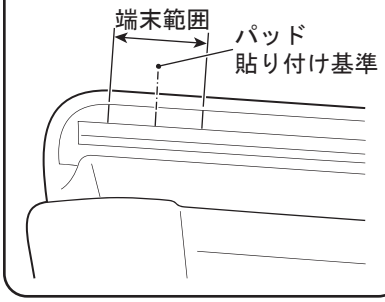

④FRドアスカートLH裏側




⑥RRドアスカートLH裏側




［パッド端末範囲 拡大図］




⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス：脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. パッド貼り付けの端末位置を範囲内に合わせ、⑨⑩⑪パッドの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

# 脱脂作業要領書

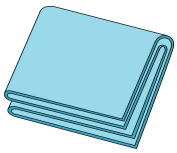
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

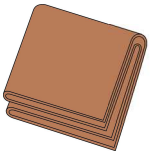
## ■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

## ■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

# ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

## ■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

## ■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

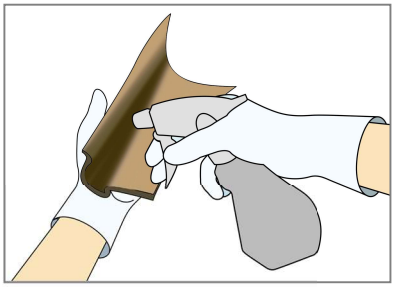

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

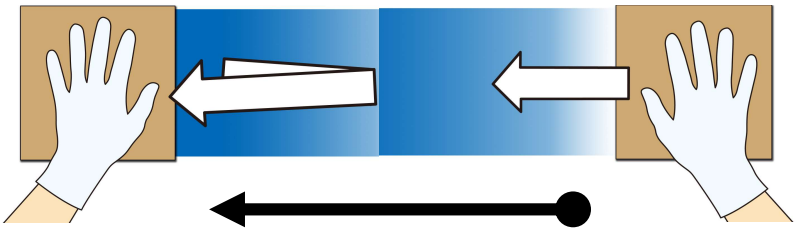


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

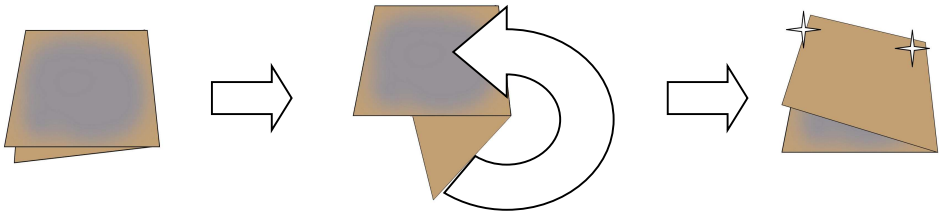
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。